



五味平一 議員

観光事業をどう推進していくのか

年間65万人の観光客を4年間で100万人にしたい

質問…観光の定義に基づく地域観光のあり方をどう考えているか。

町長…パノラマを中心とした地区・富士見高原を中心とした地区・第三のシナリオとして文化と歴史を散策する観光事業を中心に進めたいと考えている。

質問…平成17年度の観光基本計画策定から23年度まで、ツーリズムはどのように変化してきたか。今後どのように進むのか。

町長…花と心の里山構想は引きつがれている。今は、八ヶ岳観光圏を最大限利用しており、観光客は増えている。今後は、スキー

シーズンに期待したい。

質問…八ヶ岳観光圏整備事業と町行政との今後の係り合いは。また、諏訪6市町村での広域観光構想を考えているか。

町長…広域での観光構想は、持ち上がっており、町としても積極的に取り組む。

質問…インバウンド受け入れについて、具体的にどのような施策を考えているか。

町長…積極的に進めている。中国人・欧米人をターゲットにパンフレットを作成し、先ず中国人を誘客すべく努力している。

その他の質問

*落合小学校統合問題について

*危機管理について

*各区からの要望事項処理について



名取武一 議員

TPP協定…町としてできることは

まず国が説明を

質問…TPPに参加すれば富士見町の農業が壊滅することは明らか。これを町民に周知し、参加交渉を撤回させるため、広報、講演会、反対集会など町としてできることはないか。

町長…TPPに参加しても農業が維持できるということが必須条件だが、これは私が答えるべき問題ではなく、政府から国民が納得できる説明をするべきだ。

質問…JA信州諏訪、農業委員会はともに反対行動をといっている。共同で反対集会を開くべきではないか。

町長…現時点でそのようなことは考えていない。

「教育のまちづくり」について

質問…「教育のまちづくり」をどう進めようとしているか。

教育長…これまでの教育・文化の継承・充実・発展に引き続き力を入れるとともに、すべての子どもの確かな学力の向上を目指す。子育て支援・保育・教育を通して、豊かな人間性・知力・体力などを育む充実した教育文化風土を富士見町に醸成する「教育のまちづくり」を宣言し、来年度を「教育元年」の年としたい。

質問…「リーディングプロジェクト」に「教育のまちづくり」を入れるべきでは。

町長…内容はリーディングプロジェクト的に進めていく。

質問…PTA教育フォーラムで町長は「教育行政には口は出さないが金を出す」と挨拶したが。

町長…お金の工面は最大限努力するという趣旨だ。

質問…「どの子にも確かな学力」をつけるためには。

教育長…公的支援で学力向上をという視点が重要だ。